

眼科学病名の変遷

(病名史)

今回は、これらの項目について具体的に述べ、如何にして眼科病名史に影響を及ぼしたかを論じたい。

(京都市)

奥 沢 康 正

我国における眼科疾患の病名は、時代と共に造語され又、消失しながら変遷を重ねてきた。眼科病名が如何にして汎用され、医語用語とされてきたかについては、古医書、古辞典から調べる方法と、神話、民話等の民俗資料等からその語源をさぐる方法がある。

これらが病名として用いられるに到った当時の社会状勢や、医学水準を考察し、病名史に大きな影響を及ぼした理由について述べてみたい。変遷に影響を及ぼした要因は様々であろうが、変遷時期を大別すると次のように分類されるのではなからうか。

- (一) 眼科専門医の誕生による造語。
- (二) 外国語流入による訳語病名の和名化。
- (三) 眼科医療器械の開発による新しい病名。